

皇居の生物相調査 第 II 期

(リーダー 松浦啓一)

I. 目的

第 I 期の皇居の生物相調査は平成 8 年度から 12 年度 (5 年間) に行われた。第 II 期調査では、インベントリー調査とテーマ調査を組み合わせ、皇居の生物相の経時的変遷を調べることを目的とする。このため皇居にどのような生物が生息しているかを網羅的に調べるインベントリー調査と、特定の生物 (群) の動態を調べるテーマ調査を実施する。前者では昆虫類、クモ類、土壌動物などの動物と維管束植物と蘚苔類などの植物、および菌類、藻類、地衣類などを対象とする。また、後者ではタヌキ、鳥類、および枯木に発生する昆虫類の生態等について調査する。

II. 実行委員会

調査計画を立案し、計画の進行を統括するために皇居の生物相調査実行委員会を組織する。

委員長：松浦啓一

委員：動物研究部 野村周平

植物研究部 門田裕一

III. 調査対象と調査組織

調査対象と調査班の編成は下記の通りとする。

1. インベントリー調査

動物関係

1) 鱗翅類・トンボ類調査班

幹事：大和田守 (国立科学博物館)

調査員：岸田泰則 (宝仙学園高等学校：ガ類)

有田豊 (名城大学：ガ類)

中島秀雄 (神奈川県横浜市：ガ類)

矢後勝也 (東京大学大学院：チョウ類)

久保田繁男 (東京都青梅市：チョウ類)

須田真一 (東京大学大学院：トンボ類)

2) 鞘翅類・その他昆虫調査班

幹事：野村周平 (国立科学博物館)

調査員：小島弘昭 (東京農業大学：ゾウムシ類)

青木淳一 (横浜国立大学：甲虫類)

篠永哲 (東京医科歯科大学：ハエ類)

別府桂（信州大学：シヨウジョウバエ類）
友国雅章（国立科学博物館：カメムシ類）
河合省三（東京農業大学：カイガラムシ類）
松本嘉幸（芝浦工大柏高校：アブラムシ類）

3) 膜翅類等昆虫調査班

幹事：篠原明彦（国立科学博物館）
調査員：清水晃（東京都立大学：ベッコウバチ類）
寺山守（東京大学：アリ類）
小西和彦（北海道農業研究センター：寄生蜂類）
長瀬博彦（神奈川県鎌倉市：有剣類）

4) クモ類・土壌動物調査班

幹事：小野展嗣（国立科学博物館）
調査員：島野智之（宮城教育大学：ダニ類）
後藤哲雄（茨城大学：ハダニ類）
石井清（獨協大学：多足類）
坂寄廣（茨城県常総市：カニムシ類）
石塚小太郎（東久留米市：ミミズ類）
上島励（東京大学：貝類）

植物関係

1) 維管束植物調査班

幹事：門田裕一（国立科学博物館）
調査員：秋山忍（国立科学博物館）
田中法生（国立科学博物館）
海老原淳（国立科学博物館）
近田文弘（国立科学博物館）

2) 蘚苔類調査班

幹事：樋口正信（国立科学博物館）
調査員：古木達郎（千葉県立中央博物館）

3) 菌類調査班

幹事：細矢剛（国立科学博物館）
調査員：保坂健太郎（国立科学博物館）
長澤栄史（日本キノコセンター菌茸研究所）
服部力（森林総合研究所関西支所）

4) 藻類調査班

幹事：辻彰洋（国立科学博物館）

調査員：北山太樹（国立科学博物館）

渡辺眞之（国立科学博物館）

5) 地衣類調査班

幹事：大村嘉人（国立科学博物館）

調査員：柏谷博之（国立科学博物館）

文光喜（韓国：科博外国人共同研究員）

2. テーマ調査

1) タヌキ生態調査班

幹事：川田伸一郎（国立科学博物館）

調査員：上杉哲郎（宮内庁庭園課）

酒向貴子（宮内庁庭園課）

2) 鳥類生態調査班

幹事：西海功（国立科学博物館）

調査員：小林さやか（山階鳥類研究所）

調査員：森岡弘之（国立科学博物館）

調査員：濱尾章二（国立科学博物館）

調査員：岩見恭子（国立科学博物館）

調査員：黒田清子（玉川大学）

3) カワセミの繁殖生態調査

幹事：西海功（国立科学博物館）

調査員：黒田清子（玉川大学）

4) 枯木積甲虫調査班

幹事：野村周平（国立科学博物館）

調査員：青木淳一（横浜国立大学）

調査員：小島弘昭（東京農業大学）